

園芸市場情報

令和2年4月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並み、相場も前年並みか！

果実類は、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

<今月の写真>

* 3県合同カラー販促キャンペーン * (千葉・熊本・愛知)

3月9日(月)から13日(金)に大田市場花き棟中央通路にて、ホワイトデーに向け千葉・愛知・熊本の3県でカラーの販促のため、合同展示を行いました。

各産地主力の品種を持ち寄り、サイズや開き方や巻き込みのバリエーションなど15銘柄を展示し、多様な用途をPRしました。

千葉県産カラーについては、昨年の台風被害で年明けまで出荷量が落ち込んでいましたが、平年並みに回復してきています。

3月は、一年で花の需要が一番多い時期ですが、今年は、新型コロナウイルスの影響で業務用を中心に需要が落ち込んでいます。(株)大田花きでは、「今年はおうちで、お祝い＆お花見」推進キャンペーンと銘打って、家庭での花の消費拡大を提案しています。

皆さんも、是非、普段の生活に花を飾る習慣を取り入れてみて下さい。



3県合同で15銘柄のカラーを展示
大田市場花き棟 中央通路にて



「今年はおうちでお花見しませんか。」
推進ポスター (株)大田花き

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1項
3月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
4月の見通し	
今月の青果物 特集「キャベツ類」	
II 花き(切花)情報	6項
3月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
4月の見通し(バラ・ユリ・トルコキキョウ)	
2月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7項
2月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8項
「梅水晶を知ってますか」	
V 首都圏掲示板	9項
読書の皆様へお知らせ	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月下旬～3月中旬までの経過

気象	<p>この時期らしい寒暖の差があったが、全国的に温暖な気候が続き、東京都内では観測史上最も早く桜が開花した。九州南部では、暖冬の影響で桜の開花が遅れる予想もされている。</p> <p>気温は、全国的に平年を上回る傾向が続いたが、3月13～14日にかけて一部地域で降雪があった。</p> <p>降水量は、東北以北、中国地方、関東～近畿の太平洋沿岸地域では多く、それ以外の地域では平年並～少ない傾向であった。</p> <p>日照時間は、北海道、東北の一部地域と中部地方の内陸部を除いて、全国的に日照が多くなった。</p>
----	--

野菜類

入荷量	<p>関東、東海地方及び西南暖地からの入荷が主体となった。</p> <p>産地切り替えがスムーズでなかった「にんじん」や複数の産地で小玉傾向が続いた「トマト」では前年を下回った。太物中心の出回りとなった「ねぎ」や道産の残量が潤沢にあった「ばれいしょ類」等では前年を上回った。</p> <p>野菜全体では、2月下旬から3月中旬の入荷量は115,141 t（前年比97.7%）と前年並となった。</p>
相場	<p>「はくさい」「キャベツ類」は安値だった前年を上回った。「にんじん」は入荷量が少なく、不足感から大きく値を上げた。「ねぎ」は品質低下や業務需要の低迷などから荷動きが悪く、前年を下回った。</p> <p>野菜全体では、2月下旬から3月中旬の価格は226円（前年比99.4%）と前年並となった。</p>

果実類

入荷量	<p>「かんきつ類」「みかん類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷した。</p> <p>「みかん類」は3月中旬から入荷量が減少し前年をかなり下回った。「いちご類」は各産地から順調に入荷し、前年をやや上回った。「りんご類」は産地の貯蔵量が少なく、入荷量は引き続き前年を大幅に下回った。</p> <p>果実全体では、2月下旬から3月中旬までの入荷量は28,286 t（前年比94.1%）と前年をやや下回った。</p>
相場	<p>価格は、入荷量の少なかった「りんご類」は前年を大幅に上回った。「いちご類」は平年並の価格だったが、高かった前年はかなり下回った。業務需要が低迷している「メロン類」は前年を大幅に下回った。</p> <p>果実全体では、2月下旬から3月中旬までの価格は497円/kg（前年比100.5%）と前年並だった。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2020年2月下旬～3月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年6日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年21日・前年21日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	39,672	111.3	215	95.4	39,496	104.7	228	100.3	35,973	80.9	235	102.9	115,141	97.7	226	99.4
うち外国産	1,115	97.5	234	102.7	1,269	93.0	216	98.1	1,205	74.9	212	95.3	3,589	87.2	220	98.7
果実総量	9,490	101.2	498	98.4	9,622	98.2	500	104.2	9,174	84.2	491	99.0	28,286	94.1	497	100.5
うち外国産	1,136	107.4	226	97.4	1,191	103.4	238	102.2	1,190	83.7	229	96.5	3,516	96.9	231	98.6

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,535	118.0	73	108.1	3,607	123.2	71	93.3	3,261	86.3	65	93.0	10,403	107.2	70	98.2
にんじん	1,806	95.3	126	121.5	1,830	91.8	153	148.5	1,598	55.7	175	154.6	5,234	77.5	151	139.9
はくさい	3,538	113.6	60	207.9	3,017	118.5	80	211.1	2,485	93.5	90	212.4	9,040	108.7	75	208.4
キャベツ類	5,651	105.9	60	88.9	5,525	86.8	77	120.5	5,584	78.7	75	131.0	16,760	89.2	71	113.1
ほうれんそう	574	112.1	362	102.1	484	86.4	427	139.0	406	79.8	434	120.0	1,463	92.6	404	118.6
ねぎ	1,439	119.2	214	79.8	1,466	120.9	223	78.8	1,306	84.5	207	87.3	4,211	106.2	215	82.5
レタス類	2,740	124.3	155	89.9	2,219	95.5	160	98.1	2,080	80.3	163	104.3	7,040	98.9	159	97.2
きゅうり	1,558	98.7	387	109.0	1,790	123.0	386	109.5	1,649	77.2	365	101.2	4,996	96.6	379	106.4
なす	553	109.7	495	104.6	602	94.6	478	113.3	633	80.4	464	110.2	1,789	92.7	479	110.0
トマト	1,587	97.5	416	105.6	1,653	96.7	440	108.0	1,578	75.1	462	112.4	4,818	88.6	439	108.5
ピーマン	451	96.8	823	126.4	606	132.9	689	109.2	533	84.6	671	98.6	1,590	102.4	721	109.7
さといも	161	122.9	297	87.6	148	100.5	299	89.2	155	97.5	293	94.0	465	106.1	296	90.4
ばれいしょ類	2,821	126.6	94	89.8	3,283	153.6	107	89.2	2,363	86.6	120	104.7	8,466	119.3	106	94.0
たまねぎ	3,521	123.1	78	53.8	3,498	112.2	79	56.8	3,199	91.2	85	64.8	10,218	107.7	81	58.4
生しいたけ	206	108.7	919	97.0	219	107.9	904	95.7	203	90.8	858	93.2	629	102.0	894	95.5
かぼちゃ	684	100.8	145	87.4	819	103.7	125	81.8	835	90.2	140	95.9	2,318	97.7	136	88.5
さやえんどう	60	121.4	1,120	97.2	62	94.6	1,233	120.7	58	87.0	1,319	115.7	180	99.1	1,223	111.2
かんしょ	867	105.0	228	96.0	865	100.7	231	99.8	737	77.5	239	102.8	2,469	93.6	232	99.4
かぶ	385	106.9	132	95.8	373	104.6	124	84.9	369	86.6	123	86.2	1,126	98.6	127	88.9
ごぼう	274	154.0	194	48.8	246	131.9	203	51.3	207	100.5	226	57.8	726	127.5	206	52.2
こまつ菜	412	120.3	217	99.7	399	91.1	220	142.2	367	89.2	229	119.9	1,178	98.8	222	119.7
こねぎ	130	101.1	753	111.0	132	88.2	719	113.9	137	79.0	661	115.4	400	88.4	710	114.1
糸みつば	58	133.9	345	89.5	58	102.1	331	72.7	49	84.1	297	86.9	164	104.2	326	82.6
しゅんぎく	83	104.0	435	96.0	67	84.6	492	128.1	50	78.0	551	119.0	200	89.7	483	111.9
いら	253	109.4	623	104.3	264	99.6	510	106.8	247	86.2	492	117.7	765	97.6	542	110.3
セルリー	257	113.0	219	101.6	262	95.3	224	107.0	220	69.3	268	129.1	739	90.1	235	111.9
カリフラワー	98	86.2	257	106.6	81	73.3	292	126.7	62	93.8	322	110.5	242	83.0	286	114.9
ブロッコリー	1,012	95.8	323	105.8	1,001	82.2	374	132.7	857	74.5	398	115.5	2,870	83.8	363	117.1
サラダな	27	111.5	334	93.2	23	76.2	330	101.4	24	64.6	319	108.6	75	80.9	328	102.0
パセリ	19	103.8	783	105.6	19	93.5	666	90.4	18	74.2	634	92.6	56	89.1	696	96.9
チンゲンサイ	133	122.2	245	91.4	139	106.7	213	91.1	123	80.5	214	98.8	395	100.8	224	94.7
ミニトマト	425	87.6	717	97.5	490	96.9	787	113.0	467	78.5	794	109.1	1,382	87.2	768	106.6
いんげん	74	105.8	845	107.7	82	93.5	804	101.9	69	71.0	841	105.3	225	88.3	829	104.7
そらまめ	88	130.8	581	104.1	129	95.9	516	100.4	170	74.4	471	103.4	388	89.9	511	104.3
やまといも	38	101.2	575	112.5	43	95.8	598	117.4	40	85.3	586	113.8	121	93.5	587	114.6
根しょうが	85	117.7	589	101.4	85	106.4	668	107.8	86	80.4	713	108.4	255	98.9	657	105.2
マッシュルーム	42	93.2	944	108.7	49	103.4	819	93.9	52	94.5	791	92.8	143	97.0	846	97.9

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	1,212	94.3	341	90.5	791	90.4	398	98.8	431	81.7	449	99.9	2,434	90.6	379	94.8
(ハウスみかん)	16	96.1	932	84.9	22	195.2	891	80.9	18	139.4	985	91.1	56	136.9	933	85.3
(普通みかん)	1,188	94.6	333	90.8	762	88.7	385	97.5	411	80.0	425	98.2	2,361	89.8	366	94.1
かんきつ類	3,412	101.0	318	99.0	3,894	98.0	321	101.1	3,765	85.8	314	99.2	11,071	94.3	318	99.8
りんご類	1,922	94.9	344	126.6	1,860	83.3	343	128.2	1,813	70.3	349	129.4	5,595	81.8	345	128.1
(ふじ)	1,648	93.9	345	129.3	1,595	82.9	345	130.5	1,552	69.4	349	134.2	4,796	81.0	347	131.4
いちご類	1,583	117.0	1,288	84.2	1,613	118.6	1,271	88.4	1,444	82.1	1,274	93.7	4,640	103.8	1,278	89.0
(とちおとめ)	756	107.6	1,208	85.0	799	110.8	1,167	88.4	722	74.3	1,157	93.9	2,277	95.0	1,178	89.6
(あまおう)	246	124.5	1,528	86.7	229	129.9	1,533	88.8	251	100.7	1,554	94.7	726	116.5	1,539	90.3
メロン類	93	83.5	940	84.5	91	95.5	859	76.3	99	77.6	875	70.3	284	84.7	891	76.4
(アールスメロン)	50	87.6	1,202	76.0	55	113.0	1,011	62.1	61	82.2	1,094	65.6	167	92.3	1,099	67.5
すいか類	30	77.5	418	103.6	91	110.0	422	101.8	116	91.8	430	94.1	238	95.6	426	97.9
(すいか大王)	26	86.4	356	113.0	64	107.6	345	103.1	69	100.2	333	92.8	158	100.3	342	100.0
(こだますいか)	5	49.0	765	111.9	28	116.0	596	97.8	47	81.9	571	99.4	80	87.5	591	99.3
ぶどう類	35	114.7	543	106.0	49	140.2	483	90.3	70	128.5	435	98.4	153	128.5	474	97.5
かき類	20	120.5	456	85.5	9	138.7	724	115.0	5	33.8	594	174.6	34	91.2	550	115.0

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,349	153.1	82	101.4	1,681	167.2	77	85.5	1,665	114.0	70	82.5	4,695	140.3	76	88.9
にんじん	1,270	85.2	131	120.9	978	68.7	153	150.5	521	46.0	163	176.4	2,770	68.4	145	142.7
キャベツ類	1,252	81.0	60	95.0	1,030	67.3	76	119.3	876	70.4	79	134.1	3,158	73.1	71	113.4
ほうれんそう	56	88.1	282	98.3	40	72.7	364	119.3	24	52.3	353	104.1	119	73.0	324	105.1
ねぎ	588	101.1	207	77.3	608	112.9	215	75.8	532	71.7	202	84.7	1,728	92.8	208	79.9
レタス類	134	116.0	150	87.6	111	106.5	151	87.3	97	86.3	162	97.9	342	102.9	154	90.6
きゅうり	285	92.0	363	107.6	294	139.2	361	109.4	245	73.1	347	104.5	824	96.2	357	107.2
トマト	62	76.3	381	102.3	86	110.2	367	97.5	75	72.2	383	100.5	223	84.8	376	99.8
さといも	20	61.3	265	81.9	16	44.7	269	83.4	21	53.8	270	91.7	57	53.0	268	85.8
かんしょ	489	119.4	213	92.1	496	107.4	219	95.7	433	79.6	225	100.4	1,418	100.2	219	96.1
かぶ	349	103.5	132	96.3	340	103.9	124	84.8	332	85.3	123	85.7	1,020	96.9	126	88.8
こまつ菜	19	126.8	211	94.8	16	72.0	212	103.6	10	66.4	228	99.1	44	86.2	215	99.1
しゅんぎく	30	92.2	451	98.7	22	79.6	511	124.5	13	77.3	582	119.0	65	84.4	498	111.2
サラダな	10	137.1	296	74.6	9	97.2	287	81.4	8	67.4	290	94.0	26	95.3	291	84.2
パセリ	8	81.0	732	117.9	7	85.1	615	88.2	6	66.0	602	85.7	21	77.1	654	97.2
ミニトマト	42	129.7	573	71.9	51	169.8	504	63.8	48	116.8	541	68.6	141	136.2	537	67.9
やまといも	19	92.5	575	107.6	22	88.1	594	109.8	21	86.7	609	114.3	61	88.9	593	110.7

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	97.7	788	60.8	3	67.3	525	40.0	3	63.3	717	47.1	8	72.9	673	48.4
(アールスメロン)	2	97.7	788	60.8	3	67.3	525	40.0	3	63.3	717	47.1	8	72.9	673	48.4

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 4月の見通し

野菜

入荷量は、「だいこん」「キャベツ類」「ねぎ」などは温暖な気候で順調に出荷されると見込まれる。「にんじん」は徳島県産からまとまった数量が入荷する見込み。「トマト」「きゅうり」などの果菜類では天候不順の影響が残るが、徐々に入荷量の回復が期待される。

価格は、「きゅうり」「トマト」などは価格を下げるも、前年を上回る見込み。野菜全体では、入荷量は前年並、価格も前年並の見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を主体に入荷し、「すいか類」なども徐々に増量する。

入荷量は、「かんきつ類」は出荷が前進傾向で中旬までは順調な入荷を見込む。「いちご類」「メロン類」「すいか類」は前年並～やや多い入荷量を見込む。

価格は、潤沢な入荷が見込まれる「かんきつ類」「いちご類」は前年を下回る見込み。また、業務需要が低迷している「メロン類」「すいか類」も前年を下回ると見込まれる。

果実全体では、入荷量は前年並、価格は前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	↘	↘↘	主産地は千葉、茨城県。千葉は順調に出荷が進み、神奈川は切り上がりが早まる予想。入荷量は少なかった前年をやや上回り、平年並の見込み。
ほうれんそう	⇒	↗	⇒	↘↘	主産地は茨城、群馬県。各産地で生育が前進傾向で、潤沢な入荷となる見込みである。入荷量は多かった前年並で、平年をやや上回る見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↘↘	↓↓↓	主産地は千葉、埼玉県。生育が良好で太物比率は多め、抽苔による廃棄が増えることが懸念される。入荷量は前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	↗↗	↘	主産地は埼玉、群馬県。関東産地は生育概ね順調だが、一部で実の肥大が遅れている。入荷量は前年及び平年並の見込み。
トマト	⇒	↘	↗↗	↗↗	主産地は熊本、栃木県。曇天の影響で小玉傾向が続くも、数量の回復が見込まれる。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2019年4月入荷量	2019年4月シェア率
千葉	3,479 t	18.2 %
神奈川	7,020 t	36.7 %
愛知	8,035 t	42.0 %
茨城	268 t	1.4 %

今後の競合産地の動向は?

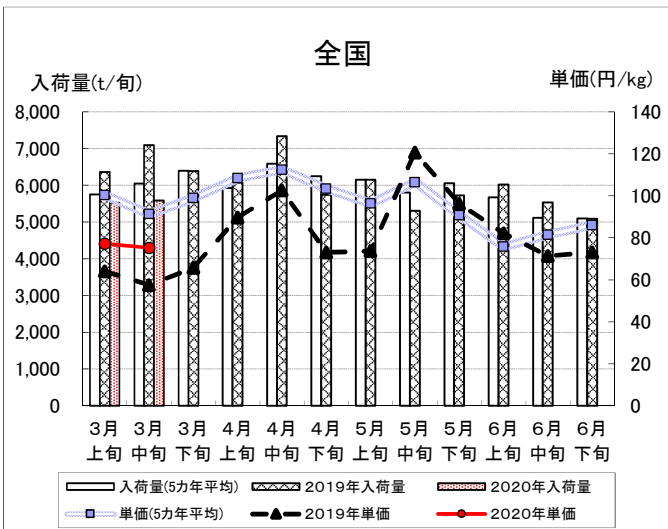
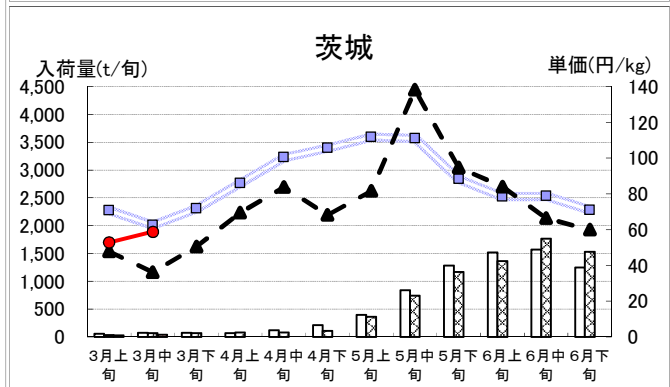
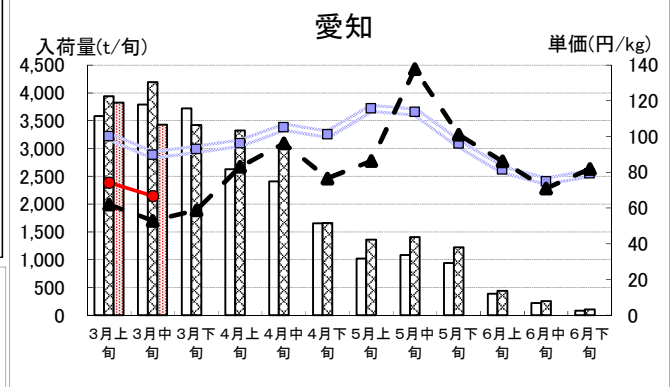
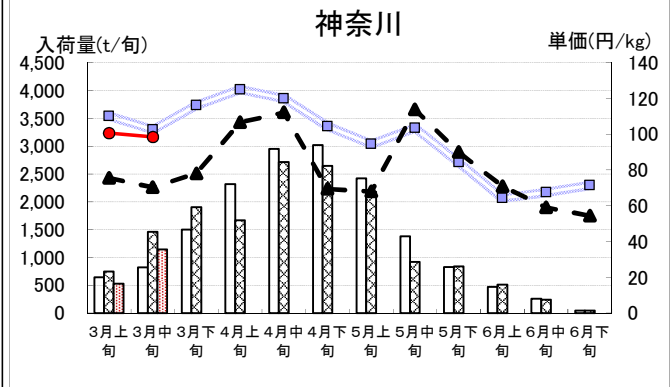
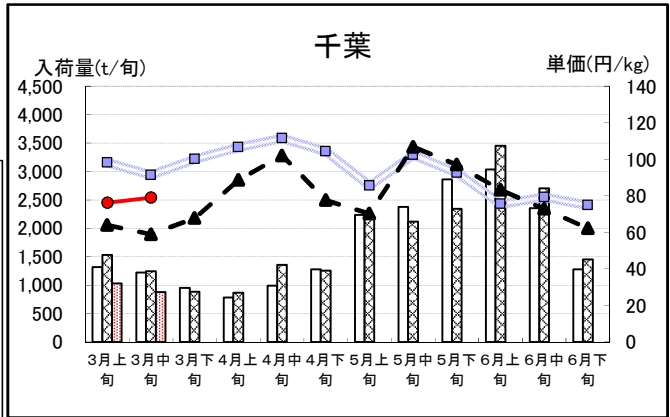
東京都中央卸売市場における春キャベツ(4~6月入荷)は千葉県、神奈川県、愛知県等からの入荷が主となっています。いずれの産地も10月から出荷が始まりますが、春キャベツは愛知県、神奈川県、千葉県の順番で出荷ピークを迎え、各産地ピークをずらすように出荷が進んでいきます。

前年は、愛知県が大玉傾向、神奈川県は日照不足等でやや小玉傾向の出荷となり、総体では平年並の数量となりました。

本年については、愛知県は冬系・春系ともに前進出荷していますが、4月中は順調な出荷が見込まれます。神奈川県は春系は1~2週間生育が前進し、上旬にはピークを迎える予想です。千葉県についても、平年並の順調出荷が見込まれます。

全体の入荷量は前年並で、平年をやや上回る見込みです。

4月入荷予測	19,350t(前年比101.1%、平年比103.2%)		
4月価格予測	85円(前年比94.8%、平年比78.5%)		
4月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 弱保合 ⇐	(下旬) 弱保合 ⇐



II 花き(切花)情報

3月(中旬)までの経過

花き需要が高まる時期だが、新型コロナウイルスの影響によるイベント・催事開催の自粛により花き需要が減退。3月中旬は彼岸需要によりやや持ち直すが、前年・平年をかなり下回る相場。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	2月下旬は暖冬による生育前進の影響で前年・平年を大幅に上回った。3月上旬は平年を大幅に下回ったが、中旬は平年並みであった。
相場	2月下旬は前年・平年並みであったが、3月上旬～中旬は前年・平年をかなり下回った。
動向	新型コロナウイルスの影響によるイベント・催事開催の自粛により、業務向け需要が大きく落ち込む。

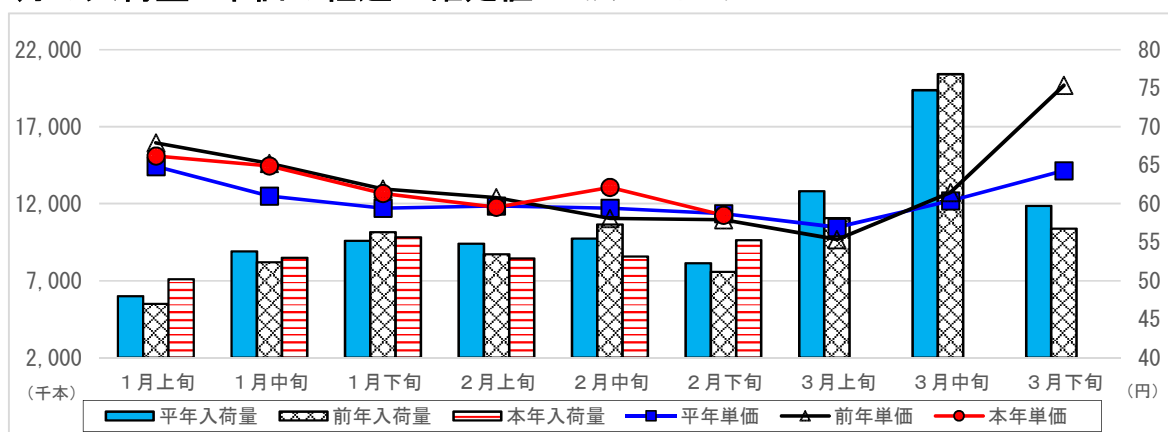
品目別経過

品目	経過
輪キク	(株)大田花き 白菊は彼岸前に数量が増加し、上位等級中心の入荷となった。仏花用の下位クラスに若干の不足感があった。色菊は前年並みの入荷となったが、引き合いの集中する時に若干の不足感があった。
バラ	(株)大田花き 婚礼、宴会、謝恩会等が軒並み延期・中止となり、特に上旬の引き合いは今までにない程厳しい状況となった。
ガーベラ	(株)東日本板橋花き 新型コロナウイルスの影響あり例年より厳しい販売となっていたが、彼岸需要等で持ち直す。数量は、昨年よりやや少なめ。

4月の見通し

品目	見通し
バラ	(株)世田谷花き 入荷量は昨年並みで、単価は厳しい見込み。高冷地産も暖冬の影響で、出荷が早まる見込み。
ユリ (オリエンタル)	(株)大田花き 高知県よりカサブランカ中心に白系、ピンク系の入荷あり。宮崎県も順次各色入荷となる。高冷地産の新潟県、山形県なども徐々に出荷開始となる。
トルコキキョウ	(株)大田花き 沖縄県、福岡県、熊本県産中心にまとまった入荷となる。前進開花傾向であることから、下旬にやや品薄になる色が出てくる見込み。

2月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R2.2月				累計 (R2.1～R2.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	20,335	1.05	157	0.87	39,913	1.02	165	0.91
だいこん	2,478	1.16	65	0.79	4,794	1.10	69	0.92
にんじん	1,074	0.93	104	1.15	2,158	0.82	110	1.22
はくさい	1,690	0.91	58	1.13	3,880	0.89	59	1.23
キャベツ	3,194	0.98	58	0.76	6,333	1.02	63	0.75
ねぎ	855	1.16	173	0.64	1,764	1.09	198	0.78
トマト	466	0.94	432	1.10	1,034	0.92	380	1.09
きゅうり	501	0.98	431	1.20	889	0.88	501	1.26
ばれいしょ	1,238	0.96	80	0.77	2,446	0.98	81	0.74
たまねぎ	2,545	1.30	70	0.47	4,465	1.26	73	0.50
レタス	1,079	1.26	153	0.77	1,946	1.12	171	0.80
果実	4,578	1.05	407	0.98	8,960	1.00	395	1.00
みかん	963	0.89	258	0.87	2,549	0.89	244	0.88
かき類	25	1.92	377	0.92	93	1.54	368	0.89
グレープフルーツ	59	0.65	248	1.37	100	0.60	254	1.36
なし類	3	1.95	289	1.56	21	2.05	263	0.99
ぶどう類	29	0.92	544	1.12	51	0.89	633	1.31
いちご類	557	1.20	1,343	0.93	906	1.00	1,466	1.04
すいか類	1	0.26	385	0.81	1	0.26	380	0.87
メロン類	46	1.87	358	0.50	74	1.51	427	0.65
バナナ	403	1.18	159	0.93	821	1.19	149	0.87
りんご	626	0.87	319	1.19	1,208	0.90	316	1.19
その他	259	1.16	268	1.22	519	1.15	291	1.16
青果物合計	25,172	1.05	204	0.91	49,392	1.02	208	0.94

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R2.2月				累計 (R2.1～R2.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,044	0.93	58	1.05	2,058	0.91	62	0.99
きく	280	1.11	66	0.94	556	0.94	70	0.94
バラ	29	0.89	98	1.06	59	0.86	100	1.10
カーネーション	150	0.97	45	1.15	301	0.97	47	1.02
枝物	34	1.00	121	0.98	66	0.95	99	0.87
鉢物	56	0.93	156	1.04	111	0.98	165	1.05
その他	1	1.00	15	0.44	2	1.00	49	1.84
花き合計	1,135	0.93	65	1.06	2,237	0.91	68	1.00

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

IV や っ ち ゃ ば 閑 話

「梅水晶を知っていますか」

今年度もやっちゃんば閑話をよろしく申し上げます。

さて、唐突ですが「梅水晶」という食べ物をご存知でしょうか？「梅水晶」はサメ軟骨を細切りにして梅肉と和えた、お通しにちょうどいいようなおつまみメニューです。およそ30年前に開発されたもので居酒屋の新しい定番になっているそうです。

去年、某テレビ番組で特集されており渋めのネーミングながら、若い人が好んで注文するとのこと。認知度のアンケート結果も紹介されていましたが、20代の若年層では高く年配になるほど知らない人が多いという結果でした。興味深いことに30代前半では知っている人が過半数で、30代後半では知らない人が過半数になっていました。30代後半の私もその番組で初めて知りました。

爾来、居酒屋などでメニューを注意深く見てみると確かにメニューにありました。マグロのねぎとろと合わせてあったり、焼鳥屋ではサメ軟骨の代わりに鶏のヤゲン軟骨を使っていたりとバリエーションも豊富です。今までもメニューで「梅水晶」の名前は見ていたのかもしれませんが、未知の食べ物として無意識にスルーしていたのかもしれない。

さて、青果物でも毎年のように新顔の野菜・果物が出てきます。また、昔からあったものでもあまり知られていない野菜も沢山あります。私自身も根イモ（里芋の新芽を軟白栽培した野菜。柏市が産地）やハスイモ（里芋の近縁種でズイキ部分のみ食用にする野菜。高知県などが産地）は大田市場勤務になって初めて知りました。青パパイヤを野菜として意識して食べたのも大田市場に来てからです。

そこまで極端なマイナー品目でなくても、産地では当たり前野菜を消費者が知らないということは思いのほか多くあります。例えば、葉タマネギ、なばな、しろり等は千葉県以外の人にはあまり馴染みのないものです。首都圏マーケティングセンターの業務の一つにスーパーなど量販店での「千葉県フェア」の実施があります。フェアではこうしたややマイナーな品目も取り上げて試食提供などを通じて消費者に紹介しています。

陳列棚に置いてあるだけではスルーされて目にとまらないもの、手に取らないものをまずは知ってもらうことが販路拡大の第一歩です。知らないものは目に入らない、「梅水晶」に改めて教えられた気がします。

(狐の茶袋)

V 首都圏 掲 示 板



読者の皆様へのお知らせ

本年2月から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの自粛、入学式など学校行事の縮小やオリンピック・パラリンピックの延期など、春の桜は満開とはいえ、いつもの年とは様子が違うスタートとなりました。

さて、4月1日付けの定期人事異動により、首都圏マーケティングセンターも下記のとおり新体制でのスタートとなりました。

今年度も引き続き、本県産青果物・花きの有利販売に向け、流通販売情報の収集・発信、首都圏におけるセールスプロモーションの展開、量販店等大口需要に対応したオール千葉での販売体制づくりの推進等に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

記

令和2年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏 名	連絡先
室 長	加 藤 英 和	〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
主 査	寺 栖 和 宏	
副主査	大 崎 望 将	
技 師	柴 田 俊 介（新任）	